

【19用語】

布達（ふたつ）…明治十九年以前に太政官が内部または下級官庁等へ発した

命令、通達

抑（そもそも）…さて、いったい、だいたい

湯治（とうじ）…温泉に浴して病気を療治すること

座右（ざゆう）…座席の右、かたわら、そば

殊更（ことさら）…わざわざ、わざと、故意に、とりわけ

養生（ようじよう）…健康の増進を図ること、摂生、病気の手当をすること、

保養

【19解説】

群馬県北部の吾妻郡中之条町にある四万温泉は、「四万（よんまん）の病に効く湯」として古くから知られ、四万川に沿って上流から日向見・ゆずりは・新湯・山口・温泉口の五地区からなる。泉質は含石膏弱食塩泉で、湧出量も多く胃腸病や神経痛などに効能があり、江戸初期から湯治場として利用されていた。

本文書は、本県第一〇二号として明治九年（一八七六）六月二十七日、熊谷県令楫取素彦から管下各区の正副区戸長あてに発した伊香保・草津・四万温泉の泉質・効能等を記した入浴心得書の中の四万温泉分であるが、入浴者心得の内容は三温泉とも同文である。なお、本資料は刷り物として広く配布され、一般にも理解しやすいように漢字の両脇には音読みと訓読みが並記されている。